



## 2024年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年11月13日

上場会社名 株式会社 アイフィスジャパン

上場取引所 東

コード番号 7833 URL <https://www.ifis.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 大澤 弘毅

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理グループ ディレクター (氏名) 河野 純平

TEL 03-6824-6440

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年12月期第3四半期の連結業績(2024年1月1日～2024年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	4,143	0.8	553	7.8	553	6.7	368	12.4
2023年12月期第3四半期	4,178	3.1	513	18.8	518	19.3	327	24.1

(注) 包括利益 2024年12月期第3四半期 370百万円 (11.1%) 2023年12月期第3四半期 333百万円 (24.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第3四半期	38.21	
2023年12月期第3四半期	33.92	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年12月期第3四半期	6,466	5,611	86.8	582.47
2023年12月期	6,191	5,419	87.5	562.54

(参考) 自己資本 2024年12月期第3四半期 5,611百万円 2023年12月期 5,419百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年12月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期		0.00		18.50	18.50
2024年12月期(予想)				19.50	19.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日～2024年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,700	2.6	720	3.0	720	2.4	465	3.6	48.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年12月期3Q	10,242,000 株	2023年12月期	10,242,000 株
期末自己株式数	2024年12月期3Q	607,305 株	2023年12月期	607,305 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年12月期3Q	9,634,695 株	2023年12月期3Q	9,655,300 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する説明	2
（2）財政状態に関する説明	3
（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
（1）四半期連結貸借対照表	4
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
（継続企業の前提に関する注記）	7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	7
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）	7
（セグメント情報等の注記）	7
（重要な後発事象）	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境が改善するなか、社会経済活動の正常化が進み、景気は緩やかに回復しております。

一方で、世界経済では欧米における高い金利水準の継続に伴う影響、中国経済における不動産市場の停滞の継続やウクライナ情勢の長期化、国内では日銀がマイナス金利政策の解除を決定するなど金融市場の環境は大きく変動していることに加え、物価上昇や円安傾向が継続しており、依然として不透明な状況が続いております。

また、当社事業と関連性が高い証券市場においては、新NISA制度の開始等を背景に、日経平均株価は2月下旬にバブル期以来となる史上最高値を更新し、その後7月には42,000円を超える最高値を更新するも8月には過去最大の下げ幅を記録するなど、値動きの激しい展開が続き2024年9月末では37,000円台となっております。また、投資信託市場における公募投資信託の純資産総額については、前年度から引き続き増加傾向が継続しております。

このような状況の中、当第3四半期連結累計期間の売上高は4,143百万円（前年同期比0.8%減）となりました。利益面につきましては、本社移転により地代家賃が減少したことや今期は移転関連費用が発生していないことにより、営業利益は553百万円（前年同期比7.8%増）となりました。また、経常利益は553百万円（前年同期比6.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は368百万円（前年同期比12.4%増）となりました。

セグメントの経営成績は以下のとおりであります。

#### <投資情報事業>

機関投資家、証券会社等に対して展開している各種サービスは、連結子会社の株式会社キャピタル・アイが展開する資本市場関係者向けリアルタイムニュース『キャピタルアイ・ニュース』が堅調に推移しているものの、証券調査レポート作成システムに関する開発案件が想定より伸びず、また、セキュリティ強化に伴う体制強化を実施したため、前年同期比で減収減益となりました。

その結果、売上高は1,078百万円（前年同期比0.5%減）、営業利益は435百万円（前年同期比4.4%減）となりました。

#### <ドキュメントソリューション事業>

生命保険関連の印刷・物流サービスは、DC加入者向けスターターキットに関し、印刷内容の変更や電子化による印刷依頼の減少により、前年同期比で減収減益となりました。

また、配送サービスを事業展開している連結子会社の株式会社東京ロジプロでは、大量案件、在庫発送案件の対応力強化を目的として、舎人ロジスティクスセンター（東京都足立区舎人）を設立いたしました。これに伴う設立費用を当期に計上したことにより、利益面で減益となりました。

その結果、売上高は1,411百万円（前年同期比4.5%減）、営業利益は133百万円（前年同期比29.8%減）となりました。

#### <ファンドディスクロージャー事業>

投資信託市場の純資産総額の増加傾向は継続しております。また、従前から印刷部数は減少傾向にありましたが、2024年スタートの新NISA制度や株価上昇等が追い風となり、当社サービスの金融ドキュメントオーダーマネジメント（通称FDOS）を通じて受注した印刷物や販促資料等の印刷部数が増加したこと、またWEB／動画のデジタル需要の取り込み強化により、前年同期比で増収増益となりました。

その結果、売上高は1,071百万円（前年同期比10.3%増）、営業利益は219百万円（前年同期比23.8%増）となりました。

#### <ITソリューション事業>

事業会社向けの受託開発を行っているビジネスソリューションの受注は、証券系ソリューションと就業、給与系ソリューションにおいて堅実な成長が続いているものの、前年度で追い風となったインボイス制度や改正電子帳簿保存法に対するIT投資の反動減により、前年同期比で減収減益となりました。

その結果、売上高は582百万円（前年同期比9.7%減）、営業利益は52百万円（前年同期比25.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ274百万円増加し、6,466百万円となりました。

流動資産合計は224百万円増加し、5,820百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が199百万円増加し、受取手形、売掛金及び契約資産が3百万円増加したことによるものであります。

固定資産合計は50百万円増加し、646百万円となりました。主な要因は、有形固定資産が21百万円増加し、投資その他の資産が22百万円増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ82百万円増加し、854百万円となりました。

流動負債は62百万円増加し、717百万円となりました。主な要因は、賞与引当金が41百万円増加し、未払法人税等が21百万円増加したことによるものであります。

固定負債は20百万円増加し、137百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ192百万円増加し、5,611百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益368百万円の計上による増加と、剰余金の配当178百万円の支払による減少であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年2月13日公表の2024年12月期通期の連結業績予想に変更はありません。今後、状況の進展や事業動向を踏まえ、業績予想の修正が必要となった場合は速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,088,365	5,287,770
受取手形、売掛金及び契約資産	457,238	460,697
その他	50,351	72,039
流動資産合計	5,595,954	5,820,507
固定資産		
有形固定資産	118,088	140,022
無形固定資産		
のれん	95,636	69,553
ソフトウェア	117,855	123,920
ソフトウェア仮勘定	4,460	30,756
その他	1,469	1,469
無形固定資産合計	219,421	225,701
投資その他の資産		
その他	258,429	280,913
貸倒引当金	-	△353
投資その他の資産合計	258,429	280,559
固定資産合計	595,939	646,283
資産合計	6,191,893	6,466,790
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	200,141	205,180
未払法人税等	83,431	104,641
賞与引当金	25,937	67,788
その他	345,256	339,632
流動負債合計	654,767	717,243
固定負債		
退職給付に係る負債	29,029	31,905
その他	88,243	105,660
固定負債合計	117,272	137,566
負債合計	772,039	854,810
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	382,510	382,510
資本剰余金	438,310	438,310
利益剰余金	4,669,127	4,859,102
自己株式	△92,600	△92,600
株主資本合計	5,397,346	5,587,321
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	68	161
為替換算調整勘定	22,438	24,496
その他の包括利益累計額合計	22,507	24,658
純資産合計	5,419,854	5,611,980
負債純資産合計	6,191,893	6,466,790

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
売上高	4,178,325	4,143,782
売上原価	2,404,750	2,401,705
売上総利益	1,773,574	1,742,076
販売費及び一般管理費	1,260,361	1,189,062
営業利益	513,213	553,014
営業外収益		
受取利息	36	393
受取配当金	157	163
持分法による投資利益	664	189
為替差益	2,691	-
確定拠出年金返還金	1,297	514
その他	249	244
営業外収益合計	5,096	1,505
営業外費用		
支払利息	-	10
為替差損	-	1,144
貸倒引当金繰入額	-	353
その他	41	1
営業外費用合計	41	1,510
経常利益	518,268	553,009
特別損失		
固定資産除却損	1,840	0
本社移転費用	18,348	-
その他	79	-
特別損失合計	20,268	0
税金等調整前四半期純利益	498,000	553,009
法人税、住民税及び事業税	153,448	199,109
法人税等調整額	16,994	△14,316
法人税等合計	170,443	184,792
四半期純利益	327,557	368,217
親会社株主に帰属する四半期純利益	327,557	368,217

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
四半期純利益	327,557	368,217
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	167	92
持分法適用会社に対する持分相当額	5,639	2,057
その他の包括利益合計	5,807	2,150
四半期包括利益	333,364	370,367
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	333,364	370,367



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	62,552千円	54,200千円
のれんの償却額	26,082	26,082

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2023年1月1日 至 2023年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	投資情報 事業	ドキュメン トソリューション事業	ファンドデ ィスクロー ジャー事業	I T ソリ ューション 事業			
売上高							
ドキュメント	—	1,358,217	961,072	—	2,319,289	—	2,319,289
WEBサービス	1,008,825	—	—	—	1,008,825	—	1,008,825
受託開発	75,139	120,145	10,123	100,758	306,165	—	306,165
その他	—	—	—	544,045	544,045	—	544,045
外部顧客への売上高	1,083,964	1,478,362	971,195	644,804	4,178,325	—	4,178,325
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,267	9,583	—	54,407	66,258	△66,258	—
計	1,086,232	1,487,946	971,195	699,211	4,244,584	△66,258	4,178,325
セグメント利益	455,629	190,451	177,085	70,442	893,609	△380,395	513,213

(注) 1. セグメント利益の調整額△380,395千円には、セグメント間取引消去△754千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△379,640千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2024年1月1日 至 2024年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	投資情報 事業	ドキュメン トソリューション事業	ファンドデ ィスクロー ジャー事業	I T ソリュ ーション事 業			
売上高							
ドキュメント	-	1,291,529	1,053,075	-	2,344,605	-	2,344,605
WEBサービス	1,028,097	-	-	-	1,028,097	-	1,028,097
受託開発	50,860	119,609	18,250	39,916	228,635	-	228,635
その他	-	-	-	542,443	542,443	-	542,443
外部顧客への売上高	1,078,957	1,411,138	1,071,325	582,359	4,143,782	-	4,143,782
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,250	11,691	-	46,902	60,843	△60,843	-
計	1,081,207	1,422,829	1,071,325	629,262	4,204,626	△60,843	4,143,782
セグメント利益	435,375	133,757	219,205	52,312	840,650	△287,636	553,014

(注) 1. セグメント利益の調整額△287,636千円には、セグメント間取引消去△652千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△286,984千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（重要な後発事象）

（取得による企業結合）

当社は、2024年10月11日開催の取締役会において、株式会社テンナイン・コミュニケーションの全株式を取得し、子会社化することについて決議し、同日付で株式譲渡契約を締結し、2024年10月11日付で全株式を取得しました。

（1）企業結合の概要

①被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称：株式会社テンナイン・コミュニケーション

事業の内容：翻訳業務、通訳業務、人材サービス、英語教育事業

②企業結合を行った主な理由

株式会社テンナイン・コミュニケーションが展開する翻訳・通訳サービスは、登録スタッフ約9,000名を擁しており、業種は金融、メーカー、サービス業など多岐に亘っております。また、熟練度の高い通訳者をクライアントに派遣することで高いリピート率を確保しつつ、その会議に同席した別のクライアントから指名を受ける等、営業先の拡大、提供サービスの拡大に繋がっております。

これらのビジネスは景気に左右されにくいいため、安定した収益力を確保しておりますが、翻訳・通訳サービスのみならず、通訳業務で利用する機材レンタル事業、一般企業向けに短期集中型英語教室「ワンマンプログラム」を展開することで、更なる事業拡大を目指しております。

当社では、同社をグループに迎え入れることにより、当社グループが展開する翻訳・通訳サービスとの相乗効果が期待されるだけでなく、同社のこれまでの知見が加わることで、新たなサービスの展開や新分野への進出が加速されるなど、更なる業容拡大を図ることが出来ると考えております。

③企業結合日

2024年10月11日

④企業結合の法的形式

株式取得

⑤結合後企業の名称

変更はありません。

⑥取得した議決権比率

100%

⑦取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したことによるものです。

（2）被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	1,595,000千円
取得原価		1,595,000千円

（3）主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザーに対する報酬・手数料等 70,000千円

（4）発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

（5）企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。